

# 評価報告概要表

## 第三者評価機関

名 称	社会福祉法人 山口県社会福祉協議会
評価調査日	平成20年9月2日(火)

## 福祉サービス事業者情報

名 称	山口県華南園	種 別	身体障害者療護施設
代表者氏名	施設長 田代 修一	開設年月日	昭和48年7月1日
設置者	山 口 県	定員(利用人数)	54名(53名)
所在地	〒747-0833 防府市大字浜方205		
電話番号	0835-23-3650	FAX番号	0835-23-3623
ホームページアドレス	<a href="http://www10.ocn.ne.jp/~kananen/">http://www10.ocn.ne.jp/~kananen/</a>		

## 総 評

### 全体を通して(事業所の優れている点、独自に工夫している点など)

#### 特に評価の高い点

1. 平成17年度に続き2回目の第三者評価を受審された積極的な姿勢を高く評価いたします。
2. また、多数のマニュアルを整備し、サービスの質の標準化に努力している姿勢も福祉施設の範となります。
3. さらに、基本理念である「その人らしさを大切に」をあらゆる印刷物、園内各所に掲示してその周知に努力していることも注目いたしました。「その人らしさ」の意味は、正に新しい時代の福祉の理念として相応したものと考え、その実現を期待いたします。
4. 福祉サービスに欠かせない園内情報の共有化のために、福祉台帳システムや個別援助計画などにコンピューターネットワークシステムを導入するなど、情報の即時性、閲覧性、記録性の点で大変評価できます。

#### 改善を求められる点

1. 平成17年度第三者評価受審の際の課題は、「外部監査の実施」「人事考課の導入」「職員の個別研修計画」でした。今回の評価受審においては、人事考課の試行など改善への着実な努力が見られますが、職員個々に対する教育計画及び教育的支援への取り組みなどは、今後の検討を待ちたいと思います。
2. その他、取り組むべき課題等は、「特記事項」及び「第三者評価結果表」の「判断の理由」を参照ください。

## 第三者評価結果に対する事業者のコメント・事業所のPR

### 評価結果について

評価結果については職員一人ひとりが真摯に受け止め、また、課題については法人全体で改善に取り組み、福祉サービス向上に努めていきます。

### 事業所のPR

「その人らしさを大切に」を基本理念に、利用者一人ひとりの「夢」の実現に向けて、職員一丸となって取り組んでいきます。

# 評価報告概要表

## 評価分野別評価結果(分野別の特記事項)

福祉サービスの基本方針と組織	a	12	b	0	c	0	Na	0
<p>1. サービスの向上を目指したワーキングチームの設置や効率的な運営を目指したコンピューターネットワークシステム導入について、管理者の指導力を評価します。</p> <p>2. 5年ごとに策定される中期計画(中・長期計画)は、理念の精神を反映したものと、かなり詳細に策定されております。しかし、理念と基本方針の関連については、解りにくい部分がありますので、明確に区分し表示する必要があります。</p>								

組織の運営管理	a	18	b	2	c	2	Na	0
<p>1. ボランティアや実習生の積極的な受け入れや短期入所事業の運営等、地域とのかかわりを重視されていることが伺えます。</p> <p>2. 職員研修には積極的な姿勢が伺えますが、質の高いサービスが益々期待される今日、職員一人ひとりの技術水準や知識、あるいは必要な専門資格を目指した教育・研修など、園の積極的な関わりが欠かせません。法人の管理体制がしっかりしているが故に、園独自のプランは難しい点もあるかと思いますが、法人を含めての課題とされるよう期待します。</p> <p>3. 関係機関との連携は、職員同士の交流も大切ですが、地域全体の共通課題などの問題提起やケース検討など関係機関や団体とのネットワークも必要かと考えます。</p>								

適切な福祉サービスの実施	a	20	b	2	c	0	Na	0
<p>1. 月に1度利用者と話し合う機会を定期的に持ち、利用者の意見をサービス提供に反映している姿勢が伺われます。</p> <p>2. また、コンピューターネットワークシステム(福祉台帳システム)の導入により、利用者の状況把握など、園内での情報の共有化が効果的に行われています。</p> <p>3. その他、各種マニュアルの整備や5つワーキングチーム(人権擁護、サービス改善、リスクマネジメント、ユニットケア、給食)の設置など、サービスの質の向上に組織全体として取り組んでいることが伺われました。</p>								

良質な個別サービスの実施	a	27	b	3	c	0	Na	4
<p>1. 施設利用者が「外出して映画を見たり、買い物が楽しみ」と話してくれました。まして身体が不自由で行動範囲に制約される方々の希望が強いものうなずけます。そのため、園では外出支援ボランティアや福祉車両の活用など利用者の意向を最大限実現できるように支援をしていることを高く評価します。</p> <p>2. そこが生活の場であるならば、居室や共有スペースが「過ごしやすい環境」であるかが大切になってまいります。特に一人になれる場所や少人数でくつろげる場所の確保、あるいはプライバシーが確保できる設備等それが条件となります。建物の構造上の制約もあるかと思われそうですが、創意工夫によって「過ごしやすい環境」づくりに取り組まれることを期待します。</p>								